

しっかり／かっちりロボットデザイン ～インタラクションデザインのススメ～

園山 隆輔

T-D-F

ロボットの研究・開発に携わっている人に、現在のロボットの課題を尋ねると、殆ど例外なく「ビジネス化だ」という答えが返ってきます。驚くべきことに、この状況はここ数年ほとんど変化がありません。これは裏を返すと「ロボットのビジネス化が遅々として進んでいない」ということの証左に他なりません。

一方で、ロボットのデザインについては様々な模索が繰り返されています。しかし、それらの試みも「ビジネス化」に向けた突破口となり得ていないというのが現状です。

これらのことは「人とロボットの関係性を構築する」という意識があまりにも低いことが原因なのではないかと考えられます。

大切なのは、ユーザとロボットの間、まさに「しっかり・かっちり」した関係性を構築することであり、本来デザインというテクノロジーはその為にこそ存在するべきであると言えます。

ここではユーザとロボットとの「関係性をかたちにする」行為を「インタラクション・デザイン」と位置付け、デザインを生業とする者の立場からロボットのデザインに関する提言をおこないます。

Exact and Scrupulous Robot Design
～Recommendation of INTERACTION DESIGN～

TAKASUKE SONOYAMA

T-D-F